

## 10月にSGH企業訪問を実施しました。

### SGH発展学習（企業との連携）

～音楽・楽器の歴史・文化、国際貢献を考える～

#### 平成29年10月4日（水） ヤマハ(株)豊岡工場、浜松市楽器博物館

##### 《目的》

ヤマハ株式会社を訪問し、施設見学やCSR活動の講話を実施することにより、グローバルな課題への興味・関心を喚起し、課題研究テーマの適切な設定と理解の深化につなげる。

##### 《内容》

ヤマハ(株)豊岡工場を訪問し、ショールームの見学・演奏体験や、管楽器の製造工程の見学を行った。その後、(株)ヤマハミュージックマニュファクチャリング代表取締役社長の村松慶一氏より、ヤマハの事業説明や歴史・CSR活動についてお話をいただいた。浜松市楽器博物館では、様々な国・地域の楽器や音楽を見学・鑑賞し、音楽・楽器の歴史、文化についての理解を深めた。



ヤマハショールームの見学・体験



事業説明・CSR活動の講話



楽器博物館の展示見学

##### [参加生徒の感想]

手作業の工程が多く、作業員が丁寧に作っているからこそ、きれいな楽器ができることを知った。機械と人の手のバランスをうまくとることで高品質なものを量産できるのだと感じた。

5Sを大切にしていると聞き、実際の工場の中はきれいで清潔に保たれており、よい環境づくりが大切だと感じた。人を良くするためには環境を、環境を変えるには人が必要だということを知り、自分からも変化していきたいようにしたい。

CSR活動は環境保全のイメージが強いが、国際貢献、教育活動もあることを知った。世界中に音楽教育が広まると思った。ヤマハは世界でも大きな企業だけど、その誇りと自覚を持っているからこそ今でも発展し続けていると感じた。

博物館の展示を見て、楽器の進化の過程を想像したり、どんな思いでこの楽器を作り出したのかを考えたりして、楽器にはその国その時代の思いが詰まっていると感じた。年代順におかれた楽器をみて、その移り変わりなどを想像でき楽しかった。地域ごとの特徴などを知ることができたので、自分の課題研究に生かしていきたい。

